

ひなの家押野通信第7号

昔ながらのすっぱ〜い梅干しづくり 利用者の知恵生かす



梅を点検する

梅が市場に出回る時期。ひなの家押野では早速、利用者やスタッフらが梅干しづくりに励みました。和歌山県産の南高梅5kgを購入。ホーム利用者で梅干しづくり50年余の金岡ちい子さんが指導にあたりました。梅が腐っていたり、傷づいていないか一つ一つ確認しながら、食塩をまぶして容器に入れました。

数日後、実から水が出た梅を容器から取り出し、赤く染まるシソの葉と交ぜた後、改めて容器に漬け直しました。夏に3、4日、天日干しします。秋には食べるができます。金岡さんは「5年前まで毎年、郷里の珠洲で梅干しをつくっていました。夏、天気のいい日に干すと、おいしい梅干しができますよ」と話していました。



梅にシソを交ぜる

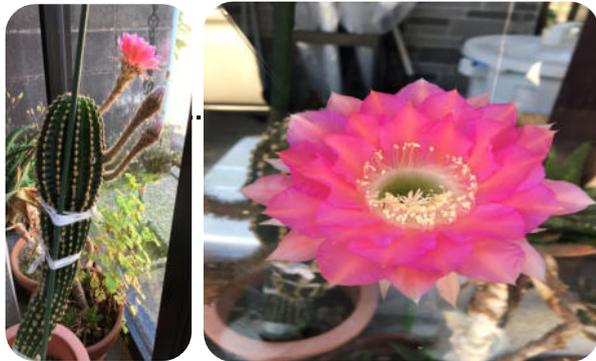


ひなの家 押野

野々市市押野1-31
電話076(287)5810

四季を撮る 番外編

丹精込めたサボテンに大輪



通所利用者の山田澄夫さんの自宅で7、8年前から育てていたサボテン2本のうちの1本(高さ約35cm)に直径13cmのピンクの大輪が咲きました。つぼみも数個付けており、まだまだ花が楽しめます。

山田さんは「丹精込めて育てよかった」と表情もほころんでいます。

相手に好感を与えるマナー研修始まる



マナーについて学ぶスタッフ

スタッフのマナーの向上を図る研修がひなの家押野で始まりました。浅井康紀社員教育推進室長が「マナーは人間性や常識度の判断基準であり、その後の信

頼度、仕事の満足度や施設への評価の基準になる」と意義を述べました。マナーの大切さについて「たった一人のマナーのない言葉や動作が施設のイメージをゼロにしてしまうし、逆に一人の対応がよければイメージアップにつながる」と強調しました。マナーの基本は「相手」中心の考え方、関わり方だとし、「相手を尊重する。相手に好感を与える。相手に迷惑をかけることがポイント」と説明。尊敬語や謙譲語にも留意し、二重敬語を使わないことなどをアドバイスしました。マナー研修の2回目は9月に実施します。

百万石茶会開く



お点前を披露

百万石まつりにちなんだ「百万石茶会」が6月7日、ひなの家押野でありました。茶道裏千家の流派をたしなむ利用者の一人が、利用者やスタッフ一人一人にお点前を披露しました。この後、みんなで百万石踊りを動画を見ながら歌い踊り、楽しいひと時をすごしました。



百万石踊りも楽しむ

インドネシアの若者2人、研修スタート 介護の技術と心を押野で学ぶ

専門学校アリス学園(金沢市)で学んでいるインドネシア・ジャワ島出身の若者2人が6月から、ひなの家押野で研修し、介護実技を学んでいます。

2人はムハンマド・イルハム・ノフエリアントさん(21)と愛称イルハムさんとセプティン・アブドゥル・アジズさん(20)とアジズさん。イルハムさんは昨年10月に来日。金沢で日本語を学び、日本語検定3級(N3)を取得しています。アジズさん

も昨年4月に来日し、横浜で1年間、日本語を勉強、N4を取得しています。すでに4月から同じまりグループの有料老人ホーム「ひなの家」で研修に入っています。6月から日曜日だけ、「ひなの家押野」を訪れ、小規模多機能ホームについて学んでいます。

インドネシアは、経済成長が進むにつれて、一時期出産抑制が行われた結果、年々高齢化が進み、高齢化社会に突入しているともい

われています。しかし、その対策が十分でなく、2人は「高齢社会の先進国である日本で学びたい」と来日しました。

2人は「日本で介護福祉士の資格を取得し、介護の技術と心を学び、プロになりたい。お金をためてインドネシアで老人ホームを建設したい」と夢を膨らませています。2022年3月まで研修します



イルハムさん(左)



アジズさん(左)

スタッフ紹介 「元気いっぱい」⑦

介護福祉士 横井 香さん

仕事は楽しく
誠意をもって



信頼を大事にしたいと語る横井香さん

20年ほど前、介護の仕事をはじめた。当時、ひなの家押野に勤め、病気の母の世話を頼んでいたヘルパーに、母がいつも感謝の言葉を口にしていた。「介護の仕事は人から感謝される仕事。私もなってみよう」と。訪問介護が中心だった。

「人に誠意をもって接すれば、必ず信頼される」が信条。「介護はしんどいだろうと周りの人は言うが、とても楽しい。楽しくない仕事はない主義」とも。趣味はロック音楽。10、20代のころ、ロックグループのボーカールを担当。エレキギターも弾いた。家族ができて音楽は封印したが、「そろそろ昔のように音楽を聴きたくなった」。

野菜収穫真つただ中

〇…ひなの家押野の畑では、野菜の収穫シーズン真っただ中。キュウリやナス、タマネギが毎日、実って、利用者の食卓を飾っています。採れたてをすぐに「朝漬けしたキュウリやナスは最高です」と利用者の声。タマネギもたくさん収穫し、写真、炒め物やみそ汁の具に入れて利用し、好評です。



畑に防砂塀つくへ

〇…畑の土や砂が風で吹き飛ばされるのを防ぐため



の防砂塀を、利用者やスタッフがみんなで協力してつくりました。写真、高さ0.8m、長さ20mほど。

◎編集後記

毎日、出勤したスタッフが集まり、朝礼をします。一人だけ必ず「ちょっといい話」を披露します。今日の話は、大切に育てていたポトスに水をやりすぎてからしてしまった。「良かった」と思ったことが、結果、良くなかった。「介護も同じ。いいと思っただけのことか。振り返りたい」と心に響きました。(浦上)